

なにかと物騒な時代です。ご自宅の防犯は大丈夫ですか？
月払い費用が格安の自分で見守るホームセキュリティをご紹介します。

1. ホームセキュリティとは

住宅の保安を様々な形でおこなうのがホームセキュリティです。長嶋さんのセコムから、「監視中」というステッカーだけのハッターまで様々なレベルがあります。

2. ホームセキュリティの目的

ホームセキュリティの目的とは何でしょう。侵入した泥棒を捕まえてもらうことですか？
違いますよね、泥棒に入りたくないと思わせること、入られても、諦めて何も取らずに逃げることですよね。

3. 泥棒の傾向分析

警視庁の資料によりますと、「防犯カメラ、防犯を示すステッカー、在宅を示すサインがあれば入るのをためらう」と出ています。
また、盗みに要する時間は約10分となっています。盗みに入る時間は案外午前中が多いとのこと、主婦がゴ



ミ捨ての途中で立ち話をする10分で泥棒には十分。

4. ホームセキュリティレベル

ホームセキュリティには費用面で横綱から平幕まであります。

① ステッカー(平幕)

はっきり言って、効果は全くないのではないのでしょうか。セコムのステッカーが闇市場で高価で取引されてい

ると言います。その辺で売っている「防犯中」のステッカーじゃ見破られてしまいます。

② ダミーカメラ(前頭)

これもステッカーと同じです。「本物と同じ形です。」という物がありますが、家庭用には見えませんね。

③ 窓、ドアの振動検知ブザー(小結)
泥棒の侵入経路の1番は窓ガラスを破ることで。ブザーは有効な防衛手段でしょう。泥棒に入られた方が案外ダメージと感じたのが窓修理代だそうです。侵入されないことが大事です。しかし、このブザー、普通に窓を開けたりした時にも反応します。風で物が飛んできて鳴る時もあるってご近所に迷惑かも。そのうち面倒になってセットしない頃に泥棒が侵入なんてことも。

④ 自動電灯制御装置(関脇)

夜間に侵入を試みる泥棒は強盗に化ける可能性があります。物を取られるだけならまだしも、怪我をしては大変です。いつも誰かがいるように、部屋の明かりを自動で点けてくれる装置があります。取り付けも簡単で、時間をランダムに変化させる賢い製品も登場しています。ストーカー対策も含めて、一人暮らしの女性には必須アイテムだと思います。欠点は夜しか防犯の役にたたないことです。

⑤ 警備会社のシステム(大関)

セコムを始め警備会社の防犯システムは大関止まりです。何故かと言えば、警備員は泥棒を捕まえることが出来ないし、ランニングコストが高すぎるからです。初期費用48万、月額4,500円が必要です。泥棒の平均滞在時間は10分。この時間では警備員は到着できません。泥棒が去った後で警察を呼んでくれるだけです。

強盗に襲われる可能性は減りますが、壊れた窓と土足で荒らされた室内は変わらないのです。

⑥ 携帯電話に通報するシステム(横綱)

今話題なのが、携帯電話にメールで警報を通報するシステムです。利点



は予算に応じて柔軟なシステムが組めること、月額費用は警備会社の1/5です。複数のセンサーを組み合わせて警報を鳴らすようにすれば誤報も減らせます。複数の人に携帯メールで通報するように出来るので、確実に警報が通知されます。もし侵入されてもWebカメラが犯人を記録します。泥棒はカメラに沢山記録されるのを嫌いますので、すぐ退散します。

5. ホームネットワークとセキュリティ

携帯電話を使ったシステムは、機器費用より施工費の負担が大きいものです。ホームネットワークと同時に施工すればセキュリティ分の施工費はほとんどかかりません。

インフォソケットは、最適なホームセキュリティを提案することが可能です。